

CITIZEN

証券コード：7762

CITIZEN GROUP

Report

第140期 報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

CITIZEN

株主のみなさまへ

To Our Shareholders

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第140期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当社は、2025年度を初年度とする「中期経営計画2027」を策定いたしました。中期経営計画2024では、「豊かな未来(とき)をつなぐ」というシチズングループビジョン2030を策定し、この実現を見据えて積極的な投資を図り、成長基盤を構築することを目標といたしました。「中期経営計画2027」では、これまでの3年間で構築した成長基盤を活かし、各事業のさらなる成長と発展を図り、収益力のより一層の向上に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

シチズン時計株式会社
代表取締役社長

大 治 良 高

業績の振り返り

詳細はこちら ▶

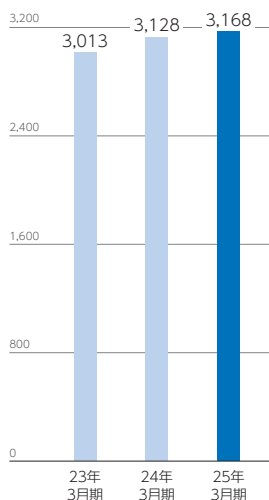


当期における国内経済は、物価高の長期化などにより節約志向が強まり、個人消費の回復は弱いものに留まりました。北米経済は、所得環境の改善などにより、個人消費は底堅く推移しました。欧州経済は、インフレ率の低下などを背景に個人消費は持ち直しの動きを見せました。アジア経済は、中国において景気低迷が継続しているほか、その他アジアにおいて個人消費が足踏みするなど、景気回復は力強さを欠くものとなりました。

このような状況のもと、当期の連結経営成績は、主に時計事業が堅調に推移し、売上高は3,168億円（前期比1.3％増）、営業利益は205億円（前期比17.9％減）と増収減益となりました。また、経常利益は230億円（前期比25.3％減）、親会社株主に帰属する当期純利益については238億円（前期比4.0％増）となりました。

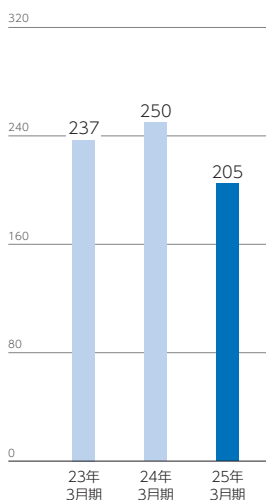
売上高

(単位:億円)



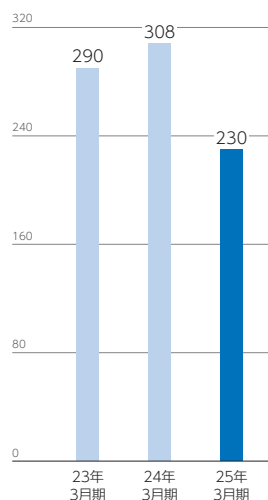
営業利益

(単位:億円)



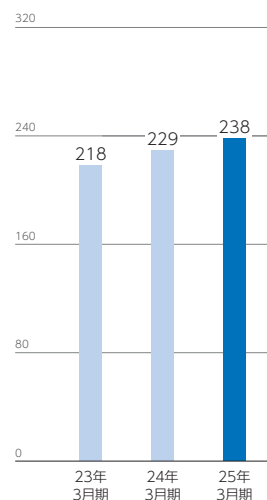
経常利益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

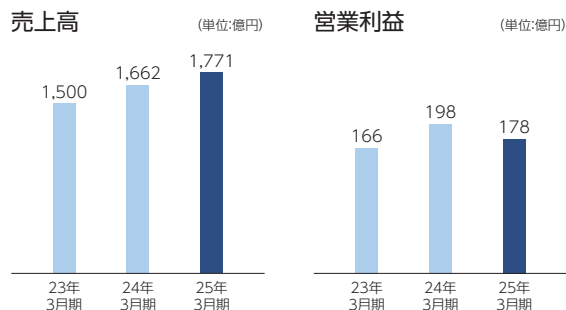
(単位:億円)



営業の概況 (セグメント別)

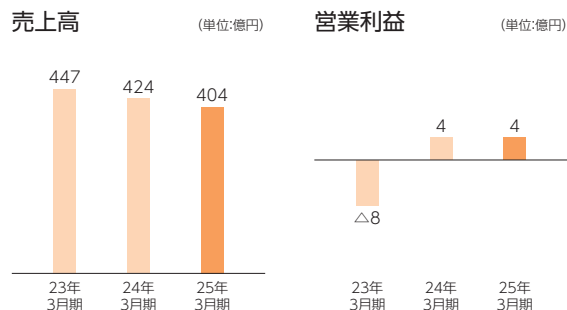
時計事業

世界的な物価高の影響で消費マインドの回復が限定的な中、グローバルブランドやプレミアムブランド、機械式時計の強化に向けた取り組みを進めた結果、増収となりました。



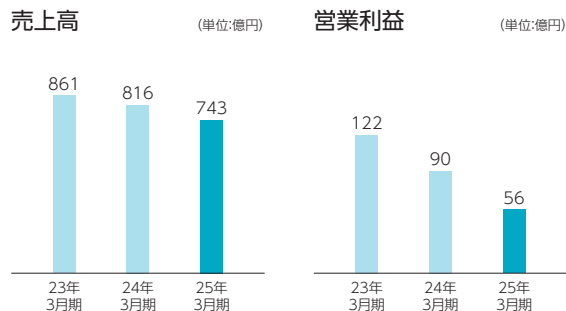
デバイス事業

自動車部品は海外を中心に底堅く推移し、セラミックスも売上を伸ばしたものの、小型モーターにおける在庫調整、オプトデバイスにおける需要低迷の影響でデバイス事業全体では減収でした。



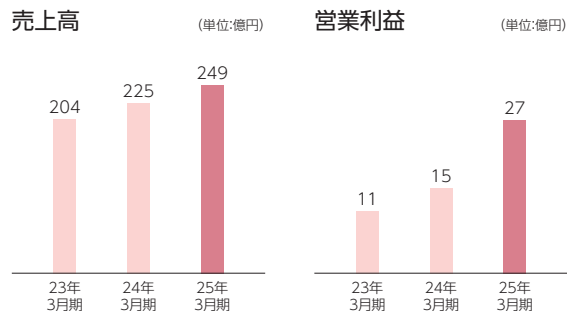
工作機械事業

国内市場は自動車関連の低迷が続き、半導体や建機関連も足踏みしました。海外市場は中国とインドが堅調でしたが、米州と欧州は市況低迷の影響で工作機械事業全体は減収でした。



電子機器他事業

情報機器はPOSプリンターとバーコードプリンターが堅調、フォトプリンターは新製品の拡販が順調でした。健康機器は血圧計や体温計の販売が好調で、電子機器他事業全体では増収でした。



シチズングループビジョン2030と 中期経営計画2027の位置付け



事業の収益性向上と能力増強のための積極的な投資を図り、次の中計に向けた成長基盤を構築

構築した成長基盤により事業のさらなる成長と発展を図り、収益力を向上

2027年度 数値目標

売上高	3,600億円
営業利益率	9.0%
ROE*	9.0%以上

*ROE = $\frac{\text{「親会社株主に帰属する当期純利益」}}{\text{「自己資本(期首残高と期末残高の平均値)」}}$

企業理念
「市民に愛され市民に貢献する」

シチズングループビジョン2030

とき
「豊かな未来をつなぐ」
Crafting a new tomorrow

グループ共通バリュー

持続的な成長

持続可能な事業活動で経済価値も社会価値も両立し、ステークホルダーへの責任を果たします

新しい挑戦

時代が変化する中で、自ら変化を先取りする新しい挑戦に取り組みます

質の向上と共感

一人ひとりの未来をより良くしたい願いに共感し、一人ひとりが、携わる仕事の質を向上し、より良い未来を実現する取り組みを追求します

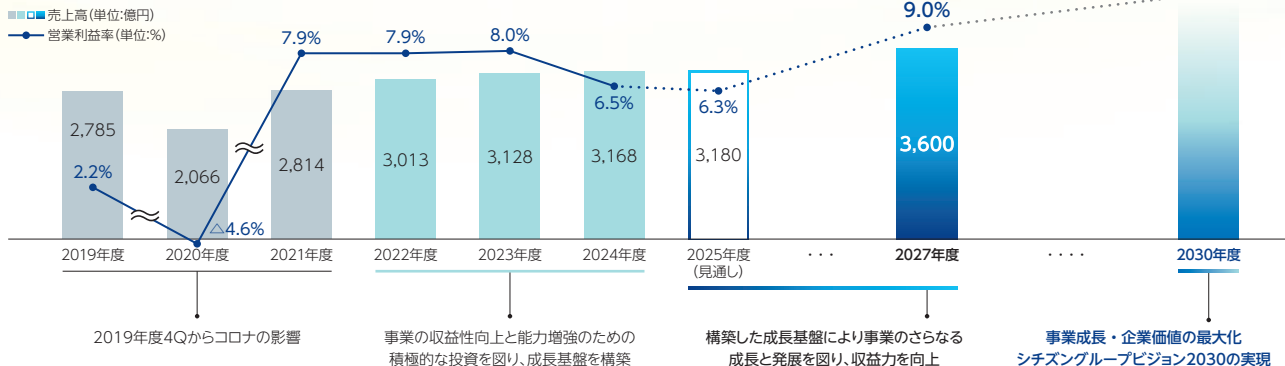
繋ぐ・繋がる

グループ内外のプレイヤーと連携すると共に、社会へ長期間貢献する関係性を構築します

責任・誇り・喜び

日々の仕事に責任を持ち、誇りを感じながら取り組みます。関わる人々への貢献を通じて、仕事への喜びを感じます

◆ 売上高・営業利益率の推移



◆ 事業ポートフォリオ

時計事業と工作機械事業をグループの中核事業と位置付け、さらなる成長と発展を目指すと共に利益率と資本効率性の向上に注力し、持続的な企業価値向上を実現する

詳細はこちら ▶



時計事業



2027年度売上目標

1,900億円

ブランド提供価値向上による
事業成長と収益力強化

工作機械事業



2027年度売上目標

1,000億円

売上高1,000億円の実現に向け
“製販イノベーション”の真価を発揮し
グローバル市場での
拡販・顧客開拓を推進

デバイス事業



2027年度売上目標

700億円

製品の選択と集中を進め、成長事業への
資源投入を強化することにより安定的に
拡大する収益性の高い事業へと進化

* デバイス事業と電子機器他事業を2025年度以降は1つのセグメントへ集約

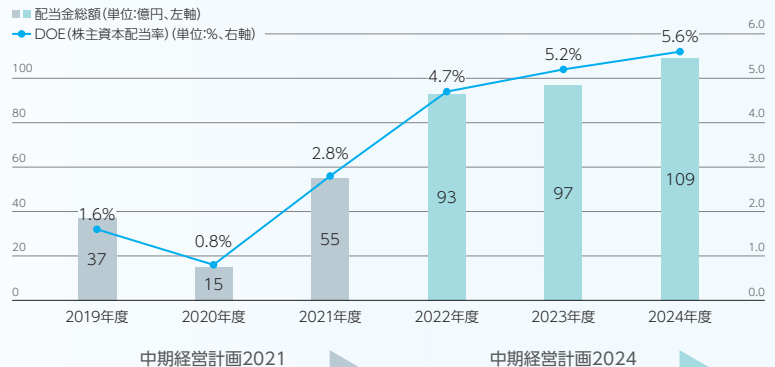
◆ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

株主還元方針 (2025-2027年度)

- ▶ DOE (株主資本配当率) * 5.0%以上を目標
- ▶ これまでの配当実績を考慮し、より安定的かつ継続的な配当を重視
- ▶ 自己株式の取得は、業績、資本構成、投資計画、株価を含む市場環境等を考慮し、状況に応じて機動的に判断

* DOE = $\frac{\text{“配当金総額”}}{\text{“株主資本 (期首残高と期末残高の平均値)”}}$

これまでの配当実績推移



* 配当金総額の億円未満は切捨てて表記しています

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
配当受領株主確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告掲載URL	https://www.citizen.co.jp/ir/koukoku/index.html ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間：土・日・祝日等を除く 平日9時～17時 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

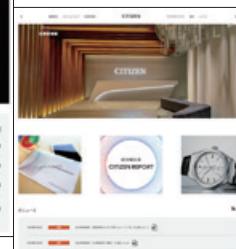
情報満載の当社ウェブサイトもご覧ください。

<https://www.citizen.co.jp/>

シチズン時計のホームページでは、IR情報をはじめ会社概要や製品情報、グループ各社の情報など、さまざまな情報をタイムリーに発信しております。是非ご覧ください。



トップページ



IRページ

お知らせ

株式に関するお手続きについて

- (1) 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金の銀行振込のご指定・振込先変更のお届け、株式の相続その他株式に関する各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にご連絡ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- (3) 未受領の配当金のお支払い事務につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお取り扱いいたします。

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

電子提供制度の導入に伴い、本年は、当社ウェブサイト上に掲載の電子提供措置事項の一部を抜粋した書面を郵送しております。次回以降の株主総会で電子提供措置事項の全体について、書面での送付を希望される株主様で、書面交付請求のお手続きをお済ませでない方は、2026年3月31日までに書面交付請求のお手続きを完了いただきますようお願いいたします。

書面交付請求のお手続きは株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行またはお取引の証券会社へお申し出ください。

本件に関する
お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505** (フリーダイヤル)

受付時間：土・日・祝日等を除く 平日9時～17時

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

